

報告

かなりは リハ工学・福祉機器フェスティバル 2014

神奈川県総合リハビリテーションセンター 作業療法士 中川 翔次

1. はじめに

2014年10月25日に神奈川県総合リハビリテーションセンター（以下リハセンター）内にて福祉機器の展示会が開催された。福祉機器の展示と同時にリハセンターのリハビリテーション工学エンジニアの技術を学ぶことができる場であり今年で2回目の開催となる。筆者は自分が勤務する職場でもあり、また同業の妻も興味を示していたため2歳の息子を連れ家族で参加したので報告する。

2. 様々な企画と同時開催

この日はリハセンターに併設されている更生施設の文化祭、知的障害者施設の学園祭、地域支援センターの当事者向け研修も開催されており、軽食の販売や手芸体験、子供向けゲーム、入所者の作品展示など催し物も多く、大人から子供、健常者から障害者まで沢山の人が賑わっていた。

3. 会場の様子

福祉機器展示会はリハセンターの体育館や駐車場に車椅子、介助リフト、コミュニケーション機器、福祉車両、ロボット、介護ベッドなどの業者全40社がズラリと並び圧巻の光景となっていた。ここでは一つ、「けん引式車椅子補助装置 JINRIKI」を紹介する。これは車椅子に簡易に装着でき、仕様はまさしく人力車のようなものである。雪道、砂浜、急な坂道などの今までは困難だった不整地での車椅子移動をスムーズにする機器で、一部自治体では災害時要援護者対策用資機材にも指定されている。さらにリハ工学の技術紹介の場では、体験型ブースを主体とした企画が用意され、義足、歩行分析、座圧測定、リ

ハセンターのリハ工学エンジニアが開発したチェアスキーやスタンドアップ車椅子などが紹介されており、あらゆる場所で積極的な意見・情報交換が行われていた。さらにチェアスキー協会による「チェアスキー発祥の地」の記念碑贈呈式典が行われ、神奈川リハビリ病院のホールに設置された。



図1 けん引式車椅子補助装置 JINRIKI



図2 チェアスキー記念碑贈呈式典

4. 終わりに

若干のデメリットとして開催場所が駅から離れている点や、リハセンターの中で展示場所が分散してしまうところなど多少の不便を感じる方もいるかもしれない。しかし、これから回数を重ねる中でそのようなデメリットを跳ね除けさらに多くの人に参加したくなるような展示会としての発展を期待したい。

神奈川県総合リハビリテーションセンター 作業療法科
〒243-0121 神奈川県厚木市七沢 516